



**第八番  
礼所**

高野山真言宗  
高野山 **興山寺**

襖絵や中央仏師による  
仏像が大広間に安置  
霊場本尊／十一面観世音菩薩

天正13年(1585)に豊臣秀吉の紀州攻めにより、兵火が高野山に及ぼした時、秀吉と直談判して山を守ったのが開祖・木食応其上人であった。応其上人は青巖寺と興山寺を創建したが、後に二つの寺が合併され金剛峯寺と呼ばれるようになった。興山寺の名が消えることを惜しんだ玄浄僧正が稲葉氏の協力を得て、白杵に興山寺を移設しました。

**白杵八ヶ所霊場**

まず最初に第一番礼所である「国宝白杵石仏」売店にて御朱印帳(納経帳)をお買い求めになり、各霊場の御朱印を綴じてください。

- 第一番礼所 **国宝白杵石仏** 白杵市大字深田804-1 0972-65-3300
- 第二番礼所 慈雲山 **福聚寺** 白杵市大字井村3456 0972-62-3468
- 第三番礼所 正覚山 **多福寺** 白杵市大字二王座191 0972-62-2912
- 第四番礼所 竹林山 **法音寺** 白杵市大字白杵256 0972-62-2357
- 第五番礼所 成道山 **見星寺** 白杵市大字白杵277 0972-62-3672
- 第六番礼所 法雲山 **大橋寺** 白杵市大字福良115 0972-62-5963
- 第七番礼所 紫雲山 **龍原寺** 白杵市大字福良134-1 0972-62-2717
- 第八番礼所 高野山 **興山寺** 白杵市大字福良2366の1 0972-63-0361

お寺の納経御朱印は9:00~17:00の間にお願ひします。  
納経料は各礼所にてお納めください。

<お問い合わせ>  
白杵市観光協会 0972-64-7130 (9:00~17:00)



**白杵八ヶ所霊場巡拝**

御朱印は仏様とのご縁の証。  
各寺院の御朱印を  
ご縁の記念に綴ってみませんか？



Google  
MAP



**第一番  
礼所**

国宝  
**白杵石仏**

「白杵磨崖仏」は、平安時代末期から鎌倉時代にかけて彫刻された磨崖仏群で、古園石仏、山王山石仏、ホキ石仏第一群、ホキ石仏第二群の4群61体が国宝・特別史跡に指定されています。これら磨崖仏は都の仏師が来て製作にかかわったと言われ、非常に高い彫刻技法を見ることが出来ます。磨崖仏が造られた理由や時期ははっきりとわかりませんが、この地に満月寺という寺院があり、その主尊として、磨崖仏が作られたのではないかと考えられています。



## 第二番 礼所

臨濟宗妙心寺派  
慈雲山 **福聚寺**

観音様と十二神将の  
ご加護を感じる

霊場本尊／観世音菩薩

享禄4年(1531)大友家家臣・疋田備前守入道によって建立。本尊は釈迦如来坐像で、霊場尊像は慈覚大師の作で観世音菩薩像。享保3年(1718)第6世貫道宗恕和尚が観音堂を建て仏像を安座し、落成したとあります。その後焼失に遭い現在、観音堂はありません。白杵の町が一望できる見晴らしのよい高台にあります。



## 第四番 礼所

日蓮宗  
竹林山 **法音寺**

住職は「うたうお坊さん」  
として活躍

霊場本尊／釈迦牟尼佛

慶長7年(1602)に三代藩主・稲葉一通公が多羅姫を正室に迎えるため、その菩提寺として建立されました。寛永19年白杵城の鬼門除けのための持国天・毘沙門天の二天王を祀り山門を建立。山門の左横にある「三光堂」は彫刻家・日名子実三が設計したもので、祈祷の本尊である生髮鬼子母神が祀られています。



## 第六番 礼所

浄土宗西山禅林寺派  
法雲山 **大橋寺**

書院から眺める白杵川の  
景色に心がほっと和みます

霊場本尊／阿弥陀如来

南都(奈良)東大寺の子院西方寺の僧であった祐範上人が本尊の阿弥陀如来を奉載して、天文17年(1548)、産々島に庵を開いた。大友宗麟公が上人に帰依し、精舎を建立。法雲山西方寺と号した。後に参拝者の便宜を図るため、寺と町の間大きな橋をかけたことで人々は『大橋寺』と呼ぶようになり、それが寺号となった。



## 第三番 礼所

臨濟宗妙心寺派  
正覚山 **多福寺**

奥方寺の窓から、  
白杵城跡を望めます

霊場本尊／聖観世音菩薩

創建は慶長6年(1601)。二代藩主・稲葉典通公が駿府(現静岡市)臨濟寺4世鐵山宗鈍禅師の法嗣了室宗密禅師を開山に請じて開いた禅寺。当初は切通しにあったが、寛永8年(1631)に今の場所へ移った。ここは三代藩主・一通公の正室・多羅姫の旧宅があった場所で、旧宅を再建したため奥方寺とも云われています。



## 第五番 礼所

臨濟宗妙心寺派  
成道山 **見星寺**

裏庭に一言地藏マリア観音  
がいらっしゃいます

霊場本尊／一言地藏マリア観音

三代藩主・稲葉一通公が駿府臨濟寺より鐵山宗鈍禅師の法孫・一翁東仁禅師を拜請して、寛永11年(1634)に開山。本尊は聖観世音菩薩。裏庭にはキリスト教が弾圧された時代に100年もの間、川底に沈んでいたと伝えられている「一言地藏マリア観音」が安置されており、願い事を1つ叶えてくれる事から一言地藏とも呼ばれています。



## 第七番 礼所

浄土宗  
紫雲山 **龍原寺**

水子供養・安産祈願の  
お地藏さまがいらっしゃいます

霊場本尊／阿弥陀如来

慶長5(1600)年、江戸出身の円譽上人が、夢に導かれてこの地に赴き、昇天を果たせず荒れ狂う龍を、持参した後陽成天皇御宸筆の六字名号軸を奉じて念仏を称えることで昇天させて、開基したと伝えられています。三重塔は「聖徳太子像」を安置する為に安政5(1858)年に建立されました。一層目の四隅では、ユーモラスな姿の邪鬼が軒を支えています。